

## 1 地方拠点都市地域の構成

### (1) 地方拠点都市地域の名称

上小地方拠点都市地域

### (2) 中心都市名

上田市

### (3) 地方拠点都市地域の構成

当地域は、上田市を中心とする上小地域ふるさと市町村圏域、2市1町1村で構成する。

上小地域 ふるさと市町村圏	上田市	H18.3合併（上田市、丸子町、真田町、武石村）	
	東御市	H16.4合併（東部町、佐久地域・北御牧村）	
	小県郡	長和町	H17.10合併（長門町、和田村）
		青木村	

## 2 地方拠点都市地域の現況

### (1) 概況

当地域は、長野県の県庁所在地である長野市から、おおむね直線で30kmから60kmの範囲、県中央部やや北東寄りの東信地域に位置しており、長野・松本・諏訪・佐久の4圏域に隣接する、文化、経済の要衝の地域である。

古くからの文化史跡や、圏内随所に湧出する良質な温泉、信州を代表する高原などの観光資源を有し、乾燥寡雨の気象条件に適応した自動車関連、電気機械を中心とする工業資本の集積地として、地域の一体的な発展が期待されている。

### (2) 自然環境

北は上信越高原国立公園の菅平・湯の丸高原、南は八ヶ岳中信高原国立公園の美ヶ原などの山々や高原に囲まれ、自然環境に恵まれた地域である。

また、千曲川が地域内を二分する形で東西に流れ、依田川、神川、浦野川等が合流している。これら河川沿いの盆地と周辺の丘陵地の標高400mから800m地帯に住宅・商工業地帯が集中し、集落及び市街地が形成されている。

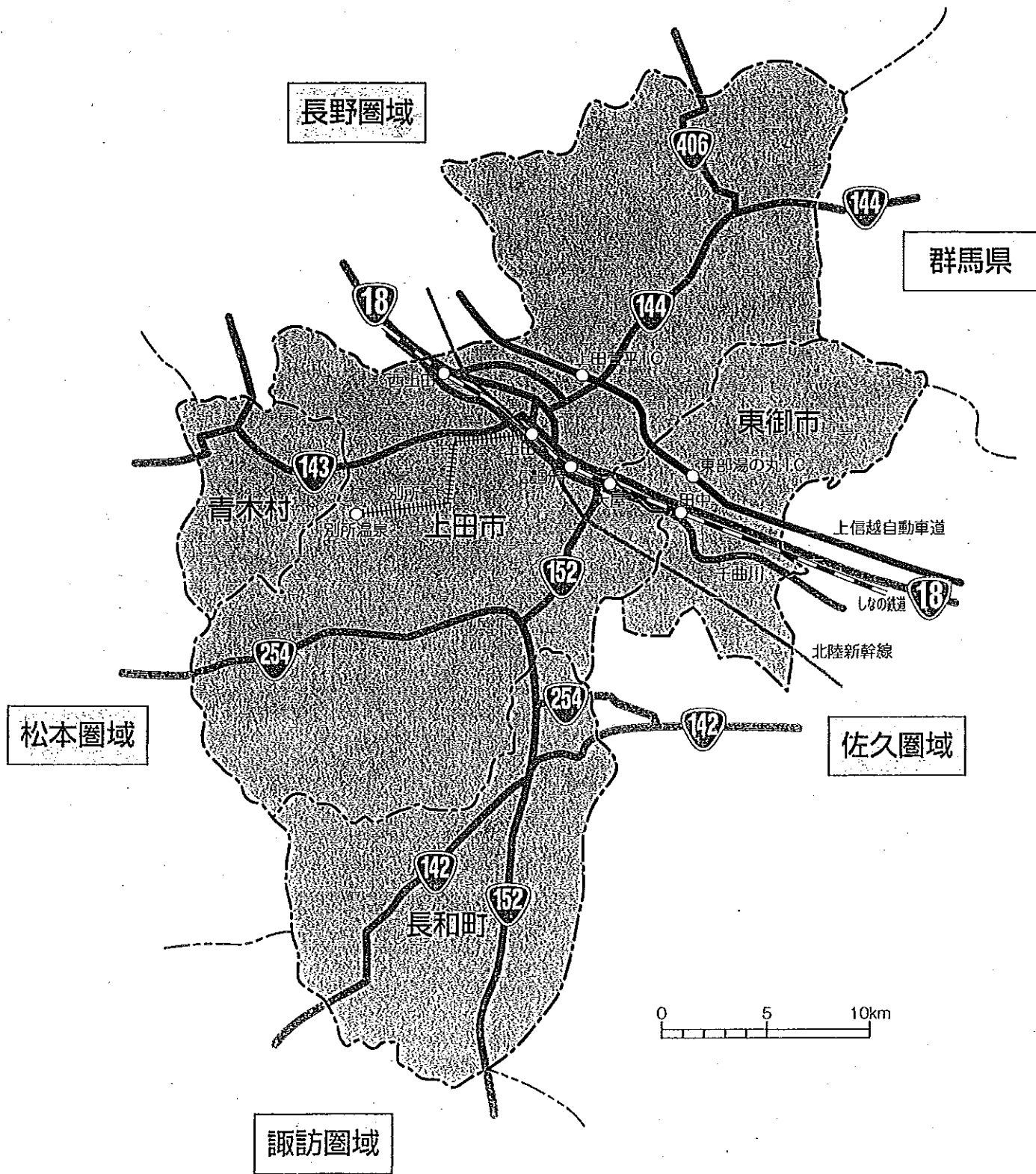
気象は昼と夜の気温較差が大きい典型的な内陸性気候で、晴天日が多く、雨量は年間平均約840ミリと、全国的に見ても寡雨地帯である。

### (3) 人口動態・面積

当地域の人口は20万7千人（平成17年国勢調査）であるが、その中でも中心都市上田市の人口が地域全体の約80%を占めている。

また、面積は905.34km<sup>2</sup>で、県土全体の6.9%に相当する。

# 上小地方拠点都市地域〔周辺圏域図〕



# 上小地方拠点都市地域〔位置図〕

